

## 医療機関、薬局、薬店等における「健康食品」 への対応等にかかる調査

2005年 5月 26日

**MRJ** 三菱総合研究所

### 内容

- 調査の目的
- 調査方法
- 主な調査内容
- 分析方法
- アンケート調査結果
- ヒアリング調査結果
- 調査結果の総合分析

**MRJ**

Copyright© Mitsubishi Research Institute, Inc. 2005.

医療機関、薬局、薬店等における「健康食品」への対応等にかかる調査 | 1

### 調査の目的

- 医療関係者
  - 「健康食品」に対する問題意識を調べる。
  - 取組状況等を把握する。
- 患者や消費者の「健康食品」の安全な利用への関与
  - そのために必要な情報や体制等を明らかにする。

**MRJ**

Copyright© Mitsubishi Research Institute, Inc. 2005.

医療機関、薬局、薬店等における「健康食品」への対応等にかかる調査 | 2

### 調査方法

- アンケート調査とヒアリング調査を実施
- アンケート調査
  - 医師と薬剤師を対象とし、医療現場での「健康食品」に関する対応状況などの実態を把握することを目的として行った。
  - 実施期間：平成17年2月8日～3月28日
- ヒアリング調査
  - 「健康食品」に係わる問題に積極的に取り組んでいる医療関係者を主な対象とし、有識者の意見を通して、「健康食品」に関する問題点や課題を幅広く集め、整理することを目的として行った。
  - 実施期間：平成17年1月26日～3月2日

**MRJ**

Copyright© Mitsubishi Research Institute, Inc. 2005.

医療機関、薬局、薬店等における「健康食品」への対応等にかかる調査 | 3

## 主な調査内容

アンケート調査	ヒアリング調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康食品」に対する関心</li> <li>「健康食品」に関する制度の把握</li> <li>「健康食品」に対するスタンス</li> <li>健康被害調査体制の把握</li> <li>患者・消費者への対応</li> <li>健康被害事例の経験</li> <li>「健康食品」に関する情報入手と活用</li> <li>今後充実が必要な取り組み</li> <li>各医療関係者への期待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康食品」に関する問題点の捉え方</li> <li>「健康食品」に関して必要とされる情報</li> <li>健康被害発生要因の捉え方</li> <li>今後、必要と考える対応策</li> </ul>



## アンケート調査対象と規模

	医師		開業 医師	病院内・薬剤師			開局・ 薬剤師
	A 病院	B 病院	東京都 医師会	A 病院	B 病院	東京都 病院 薬剤師会	東京都 薬剤師会
協力 依頼先 区分							
配布数	70	50	1000	30	20	54	203
回収計	55	35	462	30	26	47	63
回収率	79%	70%	46%	100%	100%*	87%	31%

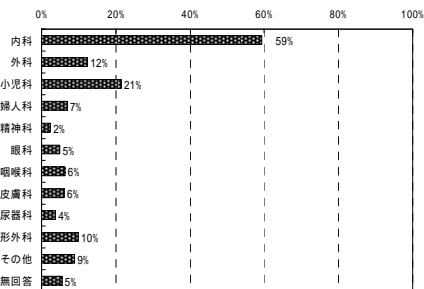
\*100%超

A病院：病床数約900床，1日平均患者数（外来：約2,000人，入院：約700人）

B病院：病床数約800床，1日平均患者数（外来：約1,500人，入院：約700人）



## 東京都医師会所属医師（開業医師）の診療科別の内訳（複数選択）



## ヒアリング調査対象一覧

区分	所属機関	人数
勤務医師	A病院	1名（内科） 1名（消化器内科） 1名（産婦人科）
	B病院	1名（血液内科）
	C病院	1名（内科） 1名（外科）
	その他	1名
	開業医師	都内
病院内薬剤師	A病院	2名
	B病院	1名
	C病院	1名
	D病院	3名
	E病院	3名
開局薬剤師	都内	7名（計6店舗）
薬店	都内	2名（1店舗）
栄養士	A病院	3名
	C病院	1名
	看護士	A病院 C病院

C病院：病床数約300床，1日平均患者数（外来：約600人，入院：約200人）

D病院：病床数約1000床，1日平均患者数（外来：約3,000人，入院：約1000人）

E病院：病床数約300床，1日平均患者数（外来：約1,000人，入院：約200人）

なお、A病院とB病院は、ヒアリング調査と同一の病院である。



## 分析方法

- アンケート調査
  - 個別項目についての単純集計
  - 設問間における回答状況を把握するためのクロス集計
  - 自由記述について、発言内容の分類・整理・集計
- ヒアリング調査
  - 主な発言を内容別に整理
  - いくつかの視点で四象限図による分析を実施

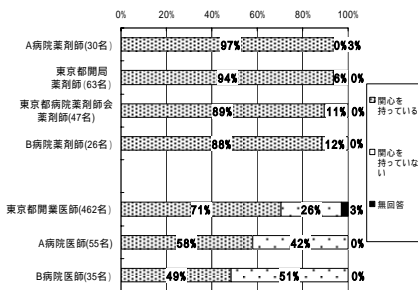


## アンケート調査結果

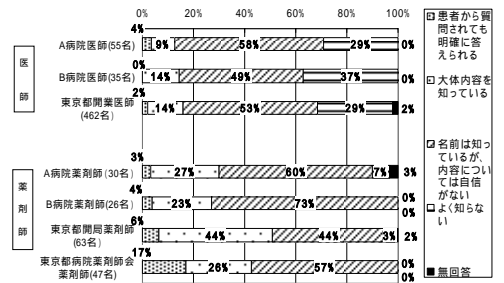
- 「健康食品」に対する関心
- 「健康食品」に関する制度の把握
- 「健康食品」に対するスタンス
- 健康被害調査体制の把握
- 患者・消費者への対応
- 健康被害症例の経験
- 「健康食品」に関する情報入手と活用
- 今後充実が必要な取り組み
- 各医療関係者への期待
- クロス集計
- 自由記述



## 健康食品に対する関心



## 「健康食品」に関する制度(特定保健用食品等の分類)の把握

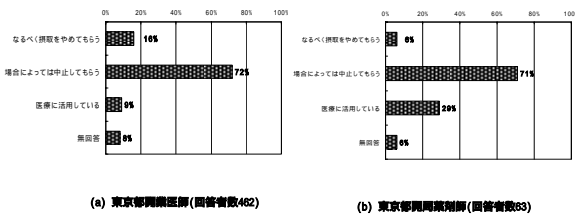


表示桁数の都合上、合計が100%とならない。



## 「健康食品」に対するスタンス

【設問】「健康食品」に対するご自身のスタンスについてお答えください(該当する番号全てに○をつけてください)。

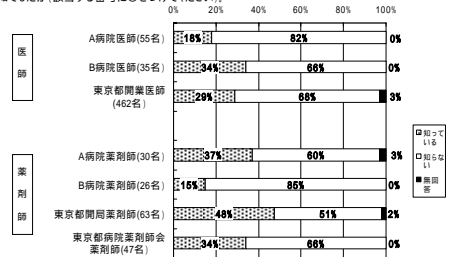


Copyright© Mitsubishi Research Institute, Inc. 2005.

医療機関、薬局、薬店等における「健康食品」への対応等にかかる調査 | 12

## 健康被害調査体制の把握

【設問】「健康食品」に起因すると考えられる健康被害については、医療機関から保健所への情報提供をお願いしており、行政ではその情報を元に、医療関係者・患者の方にご協力をお願いして症状と「健康食品」との関係等を調査しています。このことは御存知でしたか(該当する番号に○をつけてください)。



表示桁数の都合上、合計が100%とならない。

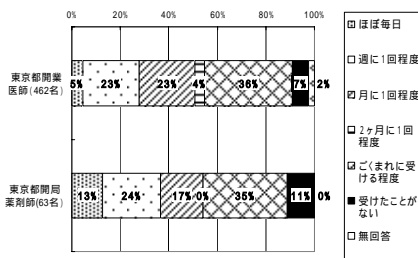


Copyright© Mitsubishi Research Institute, Inc. 2005.

医療機関、薬局、薬店等における「健康食品」への対応等にかかる調査 | 13

## 患者から相談を受ける機会

【設問】「健康食品」に関して消費者・患者から相談を受ける機会がありますか(該当する番号1つに○をつけてください)。

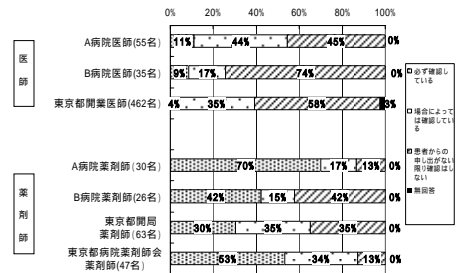


Copyright© Mitsubishi Research Institute, Inc. 2005.

医療機関、薬局、薬店等における「健康食品」への対応等にかかる調査 | 14

## 患者に対する「健康食品」利用状況の確認

【設問】患者さんの「健康食品」利用の有無を、診療時に確認していますか(該当する番号1つに○をつけてください)。



表示桁数の都合上、合計が100%とならない。

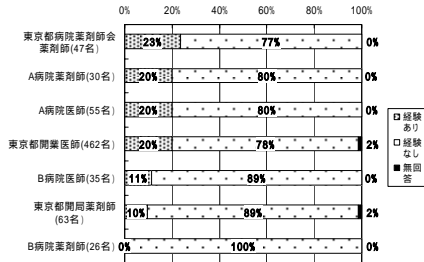


Copyright© Mitsubishi Research Institute, Inc. 2005.

医療機関、薬局、薬店等における「健康食品」への対応等にかかる調査 | 15

## 「健康食品」に起因する可能性がある健康被害事例の経験

【設問】「健康食品」に起因する可能性があると推察される健康被害事例(医薬品との相互作用も含む)のご経験がありますか(該当する番号に○をつけてください)。

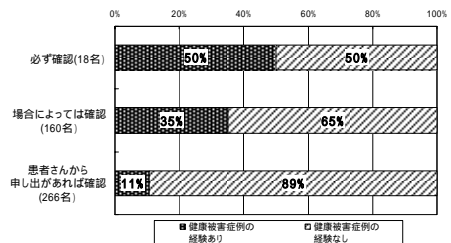


表示桁数の都合上、合計が100%とならない。



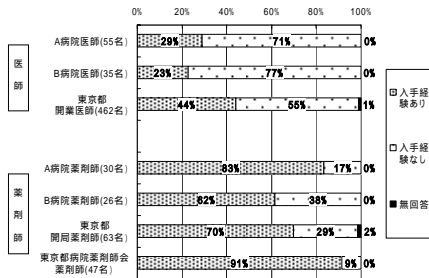
## 「患者に対する「健康食品」利用状況の確認」及び「健康食品」に起因する可能性がある健康被害の経験

東京都開業医師



## 「健康食品」に関する情報入手をしようとした経験

【設問】消費者・患者への注意やアドバイスへの必要上、「健康食品」に関する情報入手しようとしたことがありますか(該当する番号にをつけてください)。



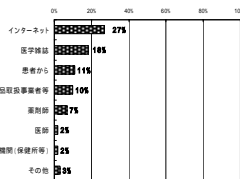
表示桁数の都合上、合計が100%とならない。



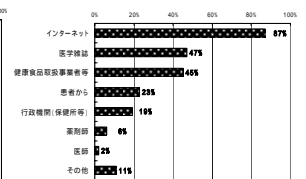
## 「健康食品」に関する情報の入手先

【設問】「健康食品」情報入手された場合、その入手先をお選びください(該当する番号全てにをつけてください)。

(a) 東京都開業医師 (調査者数219)

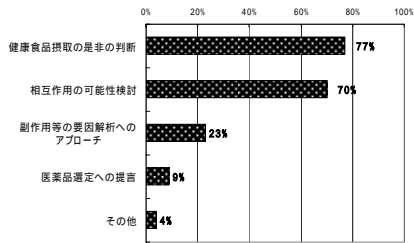


(b) 東京都病院薬剤師会薬剤師 (調査者数 43)



入手した情報の活用方法 (複数回答、東京都病院薬剤師会薬剤師 (回答数43))

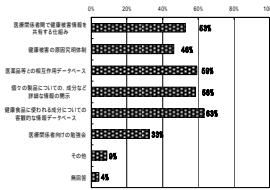
【設問】入手された場合入手した情報は、どのように活用されましたか。



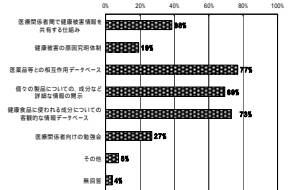
今後充実が必要と思われる仕組み

【設問】「健康食品」に関して、その安全性を確保するために新たに必要、あるいは、充実が必要とお考えになっていたことがあれば、お選びください(該当する番号全てに をつけてください)。

(a) 東京都病院薬剤師 (回答者数 462)

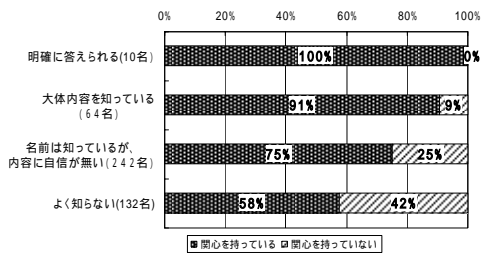


(b) A病院薬剤師 (回答者数 30)



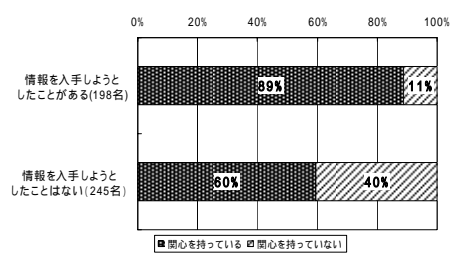
「健康食品」に対する関心と「健康食品」に関する制度の把握、のクロス集計

東京都病院薬剤師

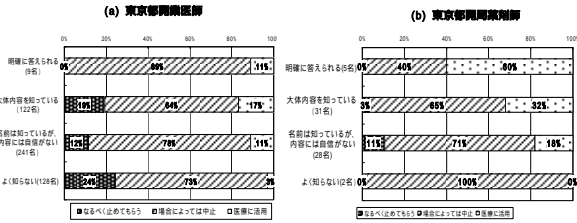


「健康食品」に対する関心と「健康食品」に関する情報入手もしようとした経験、のクロス集計

東京都病院薬剤師

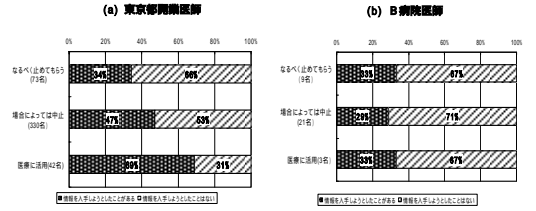


「健康食品」に関する制度の把握と「健康食品」に関するスタンスのクロス集計

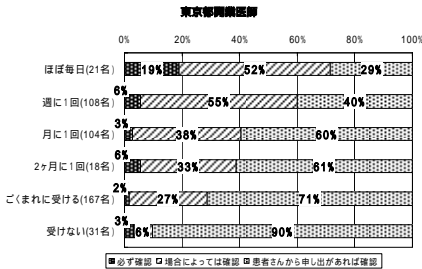


表示桁数の都合上、合計が100%とならない。

「健康食品」に関するスタンスと「健康食品」に関する情報入手しようとした経験、とのクロス集計

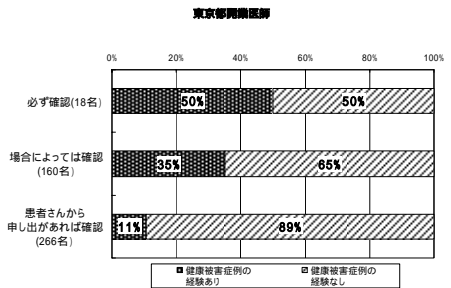


「健康食品」に関する患者からの相談頻度、及び「患者に対する「健康食品」利用状況の確認」のクロス集計

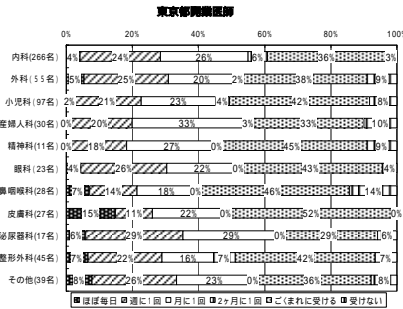


表示桁数の都合上、合計が100%とならない。

「患者に対する「健康食品」利用状況の確認、及び「健康食品」に起因する可能性がある健康被害の経験」



「健康食品」に関する患者からの相談頻度、及び「東京都医師会所属医師（開業医師）の診療科別の対応」のクロス集計



表示桁数の都合上、合計が100%とならない。



アンケート調査の自由記述内容の傾向

調査項目	自由記述の傾向
相談が多い事例	「相互作用・副作用」、「効果・有効性」、「服用の可否」
相談されて困ること	「効果・有効性」、「データ成分などの内容が不明」、「知識不足」、「相互作用・副作用について」、相談が多い事例と相談されて困ることに挙げられた事項には共通する内容もあり、医療関係者間でニーズがある「健康食品」に関する客観的で信頼のおける情報（データ）が不足していると考えられていることが伺える。
「健康食品」に由来すると 思われる健康被害の症例	肝障害、湿疹、皮膚炎、胃腸障害、腎障害、血液異常、高血圧、処方薬との相互作用などの記述があった。しかし、「疑いを持った事例」として記述されているものも多いと思われ、これらが「健康食品」との関連性について根拠を伴った判断がされている事例がどうかは、はっきりしない。
医療関係者に期待する役割	・医師に対しては、「健康食品」に関する情報を収集し、健康被害の早期発見や因果関係の早期把握を重視する記述が多かった。 ・医師会には情報の収集・分析・発信機能が期待されている。 ・薬剤師に関しては、副作用・相互作用に関する情報に関することへの期待が多かった。また、患者からの情報収集や情報提供への期待も多かった。 ・看護師についても、患者からの情報収集や情報提供への期待が多かった。 ・栄養士については看護師と同様に患者とのパイプ役としての期待も高いが、摂取方法等の指導、アドバイスを期待する記述もあった。 ・全体的に、「健康食品」に関する情報収集、や「患者とのやり取り（患者の健康食品摂取状況の把握や患者への指導）」を期待する記述があった。



「健康食品」に関する医療関係者の情報ニーズ(自由記述)

- 「健康食品」に関してよく受ける相談は、「医薬品との相互作用や副作用」「使用開始や継続の可否」「有効性」などが多かった。
- 聞かれて困ることとしても、「相互作用・副作用」「効果・有効性」の他「データ・成分などの内容が不明」という意見が多かった。
- 医療関係者は、情報不足により、対応したくてもできないと感じている。
- 結果として消費者、患者及び医療関係者が十分なコミュニケーションを図ることが出来ない状況にある。



各医療関係者に求められる役割(自由記述)

医師	・「健康食品」に関する情報を収集し、健康被害の早期発見や因果関係の把握を行う。
薬剤師	・患者（消費者）の健康食品の摂取状況を把握するとともに、薬との相互作用や安全性情報を集約する。 ・患者（消費者）に健康食品について説明を行う。
看護師	・患者の健康食品の利用状況を把握し、患者に情報を提供する。
栄養士	・患者の健康食品の利用状況を把握し、患者に情報提供する。 ・健康食品の摂取方法等の指導・アドバイスを行う。

把握した情報を他の医療関係者と共有することについても要望が多かった。





## 今後必要な取り組み(自由記述)

- 医師・薬剤師とも
  - ・「医薬品等との相互作用データベース」
  - ・「個々の製品についての成分など詳細な情報の開示」
  - ・「健康食品に使われる成分についての客観的な情報データベース」が必要であると回答した割合が高かった。
- 「医療関係者間で健康被害情報を共有化する仕組み」など、組織的な取り組みの必要性も指摘された。

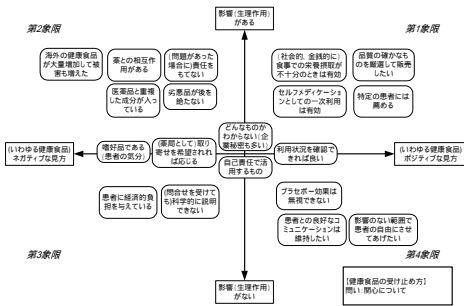


## ヒアリング調査結果

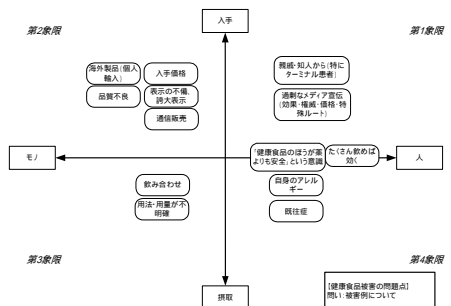
項目	分類のために導入した2つの軸
「健康食品」への意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康食品」に対する見方 (ネガティブ- ポジティブ)</li> <li>・影響(生理作用)(ある- ない)</li> </ul>
健康被害の発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人 - モノ</li> <li>・入手状況 - 摂取</li> </ul>
健康被害への対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未然防止 - 拡大防止</li> <li>・人 - モノ</li> </ul>



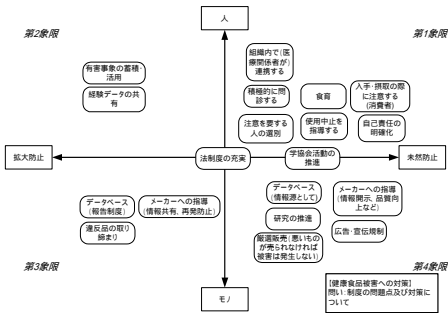
## 「健康食品」の受け止め方



## 「健康食品」被害の発生要因



## 「健康食品」被害への対策



## 調査結果の総合分析

- 「健康食品」に対する関心
- 調査で得られた「健康食品」の受け止められ方
- 「健康食品」にかかわる被害発生プロセスのとらえ方
- 被害調査体制の再検討
- 組織的な取り組み

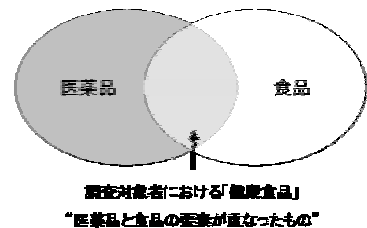


## 医療関係者の「健康食品」に対する関心

- 医療関係者の「健康食品」への関与を深めていくには、
  - 「健康食品」への関心を高める
  - 「健康食品」に関する基本的な情報を幅広い層に把握してもらう
- 患者からの相談頻度は、診療科に大きく依存していない。
- 特定の診療科ということではなく、医療関係者全体が「健康食品」に関心を持つ必要がある。



## 調査で得られた「健康食品」の受け止められ方

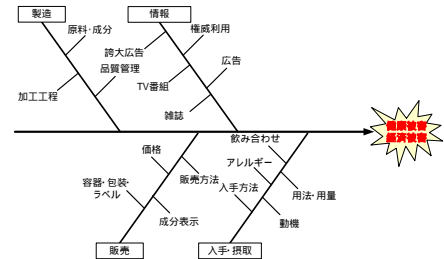


## 「健康食品」の受け止められ方

- 認知心理学の分野では、人々が肯定的な感情を持っているものに対しては、“低リスク・高ベネフィット”な判断をしやすく、否定的な感情を持つ場合には、“高リスク・低ベネフィット”と判断しやすいことが指摘されている。
- 「健康食品」に対して否定的な感情を持つ医療関係者
  - 「健康食品」を“高リスク、低ベネフィット”と判断する傾向が強まる
- 肯定的な感情を持つ患者、消費者
  - 「健康食品」を“低リスク、高ベネフィット”と判断する傾向が強まる
- 上記のようなズレの是正とズレを考慮した対策検討が重要



## 「健康食品」にかかわる被害発生プロセスのとらえ方



## 被害調査体制の再検討

- 情報共有と問題への対応のためには、医療現場を中心とした「健康食品」に関わる健康被害情報の収集が重要である。
- 既存の調査体制は、今回の調査で必ずしも期待されたとおりに機能していない可能性が高いことが分かった。
- ヒアリング調査においても、医療関係者からは「有害事象の積極的な活用」を求める意見がありあった。
  - 「有害事象の評価の医療関係者への反映」
  - 「薬剤師等でも可能な報告書式」
  - 「被害事例の公開」
- 現在の体制の中には、これにははっきりと応えられる仕組みがない。
- 健康被害に関する情報を把握し、調査を行う体制については、行政から関係者への周知を含めた再検討が必要である。



## 組織的な取り組み

- 開業医に対するアンケート調査
  - 職能団体である医師会に対して、
  - 情報の収集や分析
  - 情報提供など
 期待する意見が寄せられた。
- 他の医療関係者へのヒアリング調査
  - 学会や職能団体での組織的な取り組みへの期待
  - 医療関係者同士の連携への期待

